

「なんわ通信」の創刊にあたって

「なんわ通信」の創刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
平成15年1月、この福神の地に南和病院を開設して無事6年が経過致しました。当初、この地にしっかり根ざした病院になればと考え、「南和病院」と名付けたのですが、最近になりようやく地域の皆様方にも馴染んで頂き、ご愛顧頂けるようになりました。

今後はさらにもっと広くそして深く南和病院をご理解頂きたく、このような情報誌を発刊することになった次第です。今のところ、春・夏・秋・冬号の年4回の発刊を予定しています。地域の皆様方にとって少しでもお役に立つ情報を発信し、しかも病々連携、病診連携の一役を担うことができれば幸いです。

近年、医療をとりまく環境が激変し、医療に対する不信感が広がっていくなかで、厚労省は最近、療養型病床数を削減するというような方向性を打ち出しました。医療費抑制のために、急性期治療を終えた患者様の受け皿としての療養型病床を減らせば、ますます救急医療は崩壊し、ひいては医療全体の崩壊が加速することは明白です。限られた医療資源と人的資源をもって、何とか地域のニーズに応えるためにも、このような政策には断固反対していかなければならないと考えています。

南和病院の最近のトピックスといいますと、昨年3月よりのオーダーリングシステムの導入と、今年3月からの電子カルテシステムの導入です。これにより患者様に関する情報は一元化され、全てがペーパーレスとなりました。そしてどこの部署からでも、どこの端末からでもカルテの閲覧、記載が可能となりました。また、院内ラン(ネットワーク)の完備により、スタッフ間の情報交換や議事録、稟議書などもペーパーレスとなりました。これらのIT化はあくまでも患者様の視点に立った効率化であり、医師、看護師、コメディカル、事務部門など全員参加型のチーム医療に他なりません。パソコンの画面にばかり視線が行ってしまう弊害を排除し、患者様にとって最も大事な「心」の部分を決して忘れてはならないと肝に銘じて、私達の理念である「心の通うぬくもりのある医療」をさらに実践していきたいと考えています。



理事長 和田 信弘

オーダーリング・電子カルテシステム



患者さま情報の一元化と迅速化により更に質の高い医療のご提供と待ち時間の短縮を図ります

院内LAN(KOUJINネット)



院内メールを始めとした伝達機能、および各種書式、議事録の閲覧を容易にしています



レクリエーションの思い出



南和病院開院以来いろいろなレクリエーション(七夕祭りでの演奏、大淀中学校のブラスバンド部の演奏、フラダンスショー、ピアノ演奏で本格的な歌を聴くなど)を行ってきました。その中でも特に思い出深いレクリエーションが、平成16年春のお花見で南中ソーランを踊ったことです。「南中ソーラン」とは伊藤多喜雄さんが民謡歌手のロック調ソーランに、舞踊家の春日壽升さんが振り付けをしたもので、北海道稚内市立南中学校の校内暴力など、荒れた学校を建て直そうと先生が取り組んだものです。



職員がひとつになって踊りました。初めて南中ソーランのビデオを見たときには、とてもテンポが早く「えー！」「こんな無理」などの声が聞こえたのですが、リハビリ室で仕事が終わってから毎日練習を行い、各自がダビングしたCDを車の中で聴き、ビデオを見て自宅で練習するなど大変頑張りました。子供と一緒に練習するスタッフもいて、何とか形になりました。練習中もとても楽しく、踊り終わった後のすがすがしさ、とても懐かしく思います。

完璧な踊りではなかったのですが、ひとつの目標に向かってみんなで頑張ったことが、すばらしい思い出になっているでしょう。年々体も硬くなり動きも鈍くなってきていますが、機会があれば又踊ってみたいです。

ヤーレンソーラン ソーラン ソーラン …
ドッコイショ ドッコイショ っと… (南中ソーラン)

看護部 釜ヶ谷まち子



医療福祉相談室の取組み



私達相談員は、入院などで生じる生活上の問題について、患者さまやご家族の相談支援をしています。例えば病気やけがをして、病院で長期の治療が必要な時、医療費の支払いや日常の介護などいろいろな心配事を抱えておられた時、私達はそうした患者さまやご家族の相談にのり、様々な助言や援助をします。

相談に来られたご家族、患者さまの話を聴き、問題の整理を行います。そして他の保健医療機関・福祉関係機関・市町村・ボランティア・近隣者…等への連絡、紹介、交渉を重ねる中で問題解決の手立てを進めていきます。また家庭内の人間関係の調整や、治療への不安や障害をどう受け止めるかなどの心理的な問題も一緒に考えていきます。

病院内では、医師・看護師をはじめ、PT、ST、栄養士、など必要な専門職との連携をとり患者さまの退院後の生活についてもみんなで考えて支援します。

南和病院では、より地域の方が安心して利用できるような体制をつくるために、南和地域の他病院との連携をよりスムーズに行えるようにする取り組みとして、ソーシャルワーカー同士の勉強会なども定期的に行ったりしています。社会福祉の立場から病院と患者さま、ご家族をつなぐ架け橋となり地域に密着した医療提供ができる病院づくりをしていきたいと思っています。



患者さまの立場にたってのご説明を…
相談係 杉本さん 石田さん

栄養科の

知っ得 NANWA ニュートリション(栄養)

花粉症に負けない簡単レシピ

ツライ花粉の季節ですね!!
花粉症は食生活にも深く関係しているんですよ。
花粉症に負けない簡単レシピの
紹介をさせていただきます。

花粉症度チェック!!

皆さんは、いくつ当てはまりますか?

- 揚げ物や洋菓子などが好きである
- 魚より肉派である
- 野菜は好んで食べない、又は嫌い
- 果物を食べる習慣がない
- 加工食品・インスタント食品をよく利用する

ひとつでもチェック
の入った方は、
要注意!ですよ!



栄養科

中村 幸子さん

沢島 麻貴さん

花粉症に負けない食品!!

オススメの食品 1. 魚類(のアブラ) 2. ビタミン類

控えたい食品 1. 肉類(のアブラ) 2. インスタント食品

アブラの摂り過ぎは花粉症にはよくないですが、魚のアブラには、発症を抑制してくれる働きがあるというデータもあり、花粉症の味方です。ビタミン類、特にA・C・Eは抗酸化ビタミンと呼ばれ、これも花粉症の味方ですので、野菜(特に緑黄色野菜)や果物はしっかりと摂るようにしましょう。

又、免疫機能を整えるという意味でヨーグルト(乳酸菌)を摂るのも良いです。

『メタボリック症候群』が気になる方は、無脂肪・無糖タイプのヨーグルトをオススメします。

POINT

旬の魚、さわらを使用しましたが、鯛や鯖などもオススメです。

ヨーグルトを使うことで、魚独特の臭みも消え、味もまろやかになります。

一見、手間がかかるように見えますが、漬け込んでおいて焼くだけなので簡単です。

作り方

- ①Aの調味料を混ぜ合わせ、鯖の切り身にまんべんなく塗りつけるようにして一晩漬けます。
- ②焼く前に魚についている調味料を落とし、皮目から焼きます。
- ③付け合せのおくらは塩茹でし、添えます。

～鯖のヨーグルト味噌漬け～

材料(2人分)

- 鯖の切り身 2切れ
- 合わせ調味料A
 - 白味噌 大1.5
 - 砂糖 大2
 - みりん 大1
- ヨーグルト(プレーン) 大3
- 付け合せ おくら 適量

1人分の栄養価

- エネルギー 235kcal
- 蛋白質 17.0g
- 脂質 8.5g
- 塩分 2.2g



～ブルブルゼリー～

- 粉ゼラチン 5g
- (水 50cc)
- 砂糖 大3
- 牛乳 100cc
- ヨーグルト(プレーン) 200g
- 果物 適量

1人分の栄養価

- エネルギー 95kcal
- 蛋白質 3.8g
- カルシウム 89mg

POINT

今回は、りんご缶をゼリーの中に混ぜ固め、みかん缶をトッピングしてみました。

ビタミンをしっかりと摂りたい方は、トッピングに生フルーツを添えてみては...?

ブルブルのゼリーですので、早く固めたい場合や型抜きをする場合はゼラチンの量をふやして下さい。

作り方

- ①粉ゼラチンは水でふやかしておきます
- ②ボウルにヨーグルトを入れ、かき混ぜて滑らかな状態にしておきます。
- ③牛乳と砂糖を鍋に入れて温め、①のゼラチンを入れて溶かし、粗熱を取ります。
- ④②に③をいれて、ボウルの底を氷水で冷やしながらか、軽くトロミがでるまで混ぜます。
- ⑤型に流して、冷やし固め、お好みの果物をトッピングします。

注意:生のキウイフルーツやパイナップル等は、蛋白質分解酵素があるため、ゼリーの固まりを妨げることがあります。

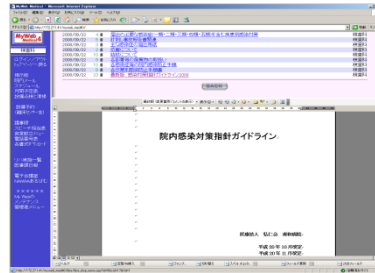
感染対策委員会の取組みを紹介

病院は病気の人が集まるところなので、病気の原因になる菌が必ず存在する場所でもあります。感染対策委員会は、院内感染対策指針のもとで患者様や職員が感染症に罹らないように注意・監視することで、院内感染を起こさない、広めないための活動をしています。

委員会の皆さん



〈委員構成〉委員長(和田院長)、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、臨床工学技師、リハビリテーション科、医事課



院内ネット(koujinネット)を活用してタイムリーに情報提供しています



面会者の方へ感染対策ご協力をお願いポスターを院内に掲示

主な取組み内容

1 感染管理

- 院内における細菌の検出状況を定期的に報告し、把握することで感染管理を行っています。
- 細菌やウイルスにより予防方法が異なる為、発生状況ケースごとの感染の拡大を予防しています。

2 感染予防

県内感染情報の提供

- 県内の流行状況を把握する事で感染の予防や感染者に素早く対応出来るようにしています。

予防接種の実施

- インフルエンザ流行前にワクチン接種のお知らせ呼びかけを行い少しでも多くの方が感染の予防ができるように努力しています。

ご家族様へのご協力

- 感染防止に努め、患者様が安心して来院・入院出来るよう委員会活動を続けていきたいと思っておりますので、来院時のマスクの着用やお見舞い時の手洗い等にご協力をお願いしています。

3 感染教育

- 職員は各種学会・研修会・講習会に参加し、万全な感染対策ができるよう努力しています。
- 院内感染対策指針や各種感染防止手順、感染症各論、議事録などを職員全員が見られるように院内ネットを使って配信し、また定期的に院内勉強会を行い、各職員の感染に対する知識の向上を図っています。

ポスピタル川柳



春うらら ぬくもり広場 笑みあふれ

事務部 川柳太郎 (ペンネーム)

編集後記

なんわ通信創刊号はいかがでしたでしょうか？
私たち初チャレンジの編集でしたが、次号から写真多く、
ご覧いただきやすい院内誌を編集していきたいと考えています。
これからも、いろんな情報を掲載させていただき、ぬくもり感じる
院内情報誌にさせていただきたいと考えています。
皆さんの原稿をお待ちしています。

院内誌 あの人近く 感じられ (笑)

住所 〒638-0833 奈良県吉野郡大淀町大字福神1-181

医療法人弘仁会 南和病院

電話番号 0747-54-5800

FAX番号 0747-54-5814



2009年春号院内誌 平成21年 3月10日発行

編集責任者 和田

編集者 浅田・谷